

## 式辞（道の駅ほうじょう新築工事起工式）

本日は、道の駅ほうじょう新築工事の起工式を挙行するにあたり、公私共にご多用の中、ご来賓として湯原衆議院議員をはじめ、地元選出の国会議員の秘書の皆様、藤原倉吉河川国道事務所長様、木本中部総合事務所長様、野田北栄町議会議長様をはじめとした町議会議員各位、地元より山根大野自治会長様、別所弓原浜自治会長様、再整備に係る連絡協議会の柿本会長様、北野北栄町商工会副会長様、山柘北栄町観光協会会長様、また設計、施工、そして運営候補者様、各関係機関をはじめ、多くの方々にご列席を賜り、厚くお礼申し上げます。

この道の駅は、道の駅「北条公園」として、今から30年前にオープンしました。これまで多くの方にご利用いただきましたが、施設の老朽化や入込客数の減少など様々な課題が生じてまいりました。そこで、今後の運営等について、平成28年8月に国、県、地元自治会などで構成する運営連絡協議会を立ち上げ、協議を重ねてまいりました。平成30年3月には、再整備の基本構想を、令和元年6月には再整備の基本計画を策定し、整備方針として、「誰もが立ち寄りたくなる個性的で魅力的な道の駅」「町の玄関口・観光案内の拠点としての道の駅」「産業振興により元気を創出する道の駅」「女性客や子ども、外国人観光客等が安心して楽しめる道の駅」「防災拠点として地域を守る道の駅」を掲げ、取り組みを進めてまいりました。令和2年1月には、国より、重点道の駅として選定され、同年7月には、国土交通省と一体的に整備を行うこととなりました。さらには、スムーズな運営を目指すため、令和3年3月に指定管理の候補者として、全国の道の駅で実績のある、株式会社TTC様に指定管理をお願いし、

その後の設計にも意見を反映していただくため、一緒になって整備を進めているところ です。

また、住民説明会や議会議員で構成する「道の駅整備に関する調査特別委員会」などでご説明させていただき、ご理解をいただいているところ です。

今年 8 月には、道の駅の新たな名称を公募しましたところ、全国から 1,000 件を超える応募をいただき、地名と同じく北条砂丘の農産物の豊かな実りを表す「豊穰」の願いが込められ、また、ひらがなで親しみのある、道の駅「ほうじょう」に決定しました。

新築工事は、建築主体工事を高野・共栄特定建設工事共同企業体 様に、電気工事を株式会社エナテクス 様に、機械設備工事をクラエー・晃進特定建設工事共同企業体 様の体制で行うことになりました。さらに本日は、造成工事施工者として株式会社みたこ土建 様にもご出席いただいております。

先ほどは、期間中の工事の安全祈願祭を行いました。くれぐれも安全第一で工事を進めていっていただきたいと思ひます。そして、設計の段階では、NSP 設計・アーク設計工房共同体様にご尽力をいただいたこと、この場をお借りして、お礼を申し上げます。引き続き、工事監理もよろしくお願ひします。

山陰道北条道路が令和 8 年度に完成し、北条湯原道路とともに、東西と南からの結節点となり、交通の要所となります。格段に交通の便が良くなりますが、通過となつてはいけません。この道の駅に降りていただく、そして地域を周遊していただく、そんな道の駅にしていかななくてはなりません。

外観からも寄ってみたい道の駅となるよう、北条砂丘地を強く意識した屋根を、そして木造で建築するにあたり必要な木材の原木は、北栄町を含む鳥取中部1市4町の森林認証材を活用し、やさしく・柔らかい雰囲気を考えました。

道の駅ほうじょうは、令和7年4月のリニューアルオープンを目指しており、完成後には年間、33万人のお客様を見込んでおります。先月、バーベキュー棟の新築に関する安全祈願祭を行った北エリアのオートキャンプ場にも多くの利用者が予想されますが、この道の駅ほうじょうにも、その相乗効果により、多くの方がご利用になると期待しております。

終わりに、本日ご列席の皆様の引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、期間中の工事の安全と無事完成を祈念し、起工式にあたってのご挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

令和5年11月10日

北栄町長 手嶋俊樹